

第30回仙台市広瀬川清流保全審議会議事概要

日 時 : 平成19年3月15日(木)午後2時～4時

場 所 : 市役所本庁舎2階 第一委員会室

出席者 :

《審議会委員》(14名/16名)

安梅 祐紀子	(財)日本野鳥の会宮城県支部幹事
江成 敬次郎	東北工業大学教授
嘉藤 光二	仙台南地区広瀬川環境美化推進協議会推進委員
木村 美智子	東北文化学園大学助教授
日下 俊一	仙台弁護士会
斎藤 文雄	宮城中央森林組合副組合長
佐藤 基温	宮城管内町内会長連絡会
佐藤 幸男	宮城県土木部長(代理:久保田技術副参事兼技術補佐)
鈴木 博昭	広瀬・名取川漁業協同組合理事
館 幸二郎	(社)仙台青年会議所
外山 武比古	仙台森林管理署長
中村 捷子	(社)宮城県建築士会仙台支部
松澤 保佑	北部広瀬川愛護推進協議会長
南 哲行	国土交通省東北地方整備局河川部長(代理:松川河川環境課長)

《事務局》

犬飼 良次	建設局長
庄子 稔	建設局次長
大崎 啓一	建設局百年の杜推進部長
堀 昌善	建設局百年の杜推進部参事
小坂 幸一	建設局百年の杜推進部青葉山整備室長
鈴木 俊雄	環境局環境部環境対策課長
金森 安孝	教育局生涯学習部文化財課主幹兼仙台城史跡調査室長
石川 泉	交通局東西線建設本部建設課主幹
青田 茂雄	建設局百年の杜推進部百年の杜企画課長
遠藤 守也	建設局百年の杜推進部百年の杜企画課主幹兼広瀬川創生室長
欠席者	西村 修委員, 松本 秀明委員
司 会	百年の杜企画課広瀬川創生室長

1. 開 会

2. 建設局長挨拶

3. 会長挨拶

4. 議 事

江成会長	<p>本日の議題には非公開とする議題がないので公開としたい。</p> <p>(委員了承)</p> <p>それでは傍聴されている方は、会議中に注意事項をお守りいただくようお願いする。</p> <p>今回の議事録署名については、佐藤基温委員をお願いする。</p> <p>議事 1 評定河原球場急傾斜地崩壊対策について</p>
江成会長	<p>議題 1 について、事務局から報告をお願いする。</p>
百年の杜企画課長	<p>資料 1 に基づき説明</p>
江成会長	<p>ただいまのご報告について、ご意見などあればお願いする。</p>
外山委員	<p>一部枠内吹き付け工法を採用されているが、樹種はどのようなものを考えているのか。</p>
百年の杜企画課長	<p>植栽の種類までは確認していないが、いわゆる一般的な草、道路の斜面等でよく見かけるようなものになる。</p>
外山委員	<p>在来種というか、この植生にあった種類にするなどの配慮がこれから望まれる方向性だと思う。</p>
宮城県土木部河川課技術副参事(久保田)	<p>事業主体の宮城県として説明させていただく。一部が吹き付け、一部が蔦を這わせるということを考えている。その植生は、地域に合った植生というものを考えているが、今後仙台市と打合せして対応していきたい。</p>

江成会長	<p>基本的な考え方としては、在来種を中心に考えていただきたい。</p> <p>直接今回の議題とは関係ないが、自然がけというのは、放っておくといろいろ変化していくということがある。保全や保護では、そういった視点も景観保全という点では考えていく必要があると思う。</p> <p>そのためには、日常的な手入れが必要ということになるが、仙台市として、自然がけの景観保全のために日常的に行っていることは、どのようなものがあるのか。</p>
百年の杜企画課長	<p>自然がけは手をつけないのが一番自然な状態と思うが、都市部においては、やはりその前に安全が第一と考えている。しかし、それは場所によりその安全性の度合いが状況によって違う。今回は安全を最優先に考えなくてはならない場所ということで、このような法律で認められる行為として扱った。</p> <p>管理方法は、日常のパトロールなど常時監視して危険度を把握することと思う。人工的に手を加えるという場合は将来の姿を考えた上で議論していかなければならないと思う。</p>
庄子次長	<p>この自然がけについては、大きく分けて2通りの手法があると思う。ひとつは、どうしても植物が生えにくいような急勾配な岩盤であり、もうひとつは、草木が生えているがけを形成しているものとなる。その中で岩盤の部分は、風化により、どうしても自然的に崩壊していくことは、避けて通れないものだと思う。</p> <p>これがどうしても一定程度混合していくとなると、何らかの人工的な保護が必要であり、植生している部分についても、大木となり、強風による斜面の崩壊もあるので、それを適正に伐採更新などが一般的ながけの管理のあり方なのかなと思う。</p>
江成会長	<p>通常、自然がけというが、その言葉の定義を考えていく必要があるのかなと感じる。</p>
日下委員	<p>急勾配の部分にネットを張ると吹き付けをするのと、どちらが景観環境保全の観点から望ましいのか。</p>
宮城県土木部河川課技術副参事（久保田）	<p>本来は草を植栽したいと思っているが、法面が急勾配な場合、土が流れ、種から根が伸ばせないことになってしまう。このため、ネットを這わせて藁で覆って緑を創生する考えたものである。様々な樹種を吹き付け、草とか小木とかが生えやすい環境を作っていきたいと考えている。</p>

日下委員	<p>法枠は外から見るとあまり見栄えが良くないので、全面ネットを張って蔦を這わせた方が景観という面では良いのではないかと思ったのだが。</p>
宮城県土木部河川課技術副参事 (久保田)	<p>日下委員のご意見は、いろいろ検討させていただきたいと思う。</p>
江成会長	<p>評定河原球場付近の自然がけは、川からは前に樹木があって見えない。全体の景観の中に入ってこない状況ではあるが、あまりひどくならないよう配慮願いたい。</p> <p>他にないか。</p>
東北地方整備局河川課長 (松川)	<p>先ほどのパトロールは、どちらの機関でどのような管理をしているのか。</p>
百年の杜企画課長	<p>県や国それぞれある。仙台市の場合は、市の道路のパトロールもあり、がけの部分ではその管理する部署がパトロールしている。</p>
東北地方整備局河川課長 (松川)	<p>がけは、風化などに伴って自然崩壊があるようなことも考えられるということだが、結構最近、集中的に雨が降ったりしているので、様々な災害に対しても計画的に管理しているのか。</p>
庄子次長	<p>この崖下には家屋があり、土地の権限の問題や安全上から何度も立ち退いて欲しいとお願いしていた経過がある。以前、危機一髪の状態ですら岩の塊がこの家屋に落下したことがあり、始めてこの工事を行うことを本人も了解していただいた。</p> <p>評定河原公園の入口であり、市の道路もあり、今回、やっと工事に入れるようになったという状況をひとつご理解いただきたい。</p>
江成会長	<p>議事2 仙台城跡遺構支障木伐採等について</p> <p>それでは、次の議題2について事務局からの報告をお願いします。</p>
教育局文化財課 仙台城史跡調査室長	<p>仙台城跡遺構支障木伐採について</p> <p>仙台城跡については、平成15年8月に国の史跡に指定され、17年3月には史跡の整備基本計画を策定した。現在、区域の重なる青葉山の公園整備を担当する建設局とともに外部委員会を設置し、指導を受け</p>

	<p>ながら調整を図っている。</p> <p>教育局では国の補助を得て仙台城の城郭としての価値を保ちながら景観に配慮しつつ仙台城の空間特性の回復を目指すことを目的として、天然記念物青葉山の指定地以外の場所について城内に点在する石垣や土塁、本丸など貴重な遺構を損壊あるいは崩壊を助長し、公園を訪れます市民や多数の観光客の安全をおびやかすような支障木について、対策工事を行うこととしたものである。</p>
青葉山公園整備室主査	仙台城跡遺構支障木伐採の内容を資料2 - 1に基づき説明。
江成会長	それでは只今の報告について質問などはないか。
外山委員	<p>松食い虫の松は、ほとんど治る見込みがないということで伐採されるということか。</p> <p>松食い虫の松は松食いセンチュウなどの温床になることから、早期に対応しなければならないが、樹幹注入によって未然に防げる状況なのか、伐採すべきか判断しなければならないので質問した。</p>
庄子次長	<p>公園での松の管理については、特にシンボリックな松などは樹幹注入などを施しながら守ってきた。</p> <p>今回の松は、樹幹注入をしても回復が見込めないという状況なので、基本的には伐採しなければならないと判断とした。</p>
江成会長	樹幹注入を行っている樹木はあるのか。
庄子次長	仙台全体に松食い虫がまん延しているが、保存樹木などに指定されている松や八木山の東北放送の通りの久兵衛松など非常に景観がいい松がある。そのような松も地域住民の方が、自らが守っているものもある。
江成会長	<p>他にないか。</p> <p>先ほどフォトモンタージュの場所が今回伐採の対象になっている樹木の中で一番大きいものか。</p>
青葉山公園整備係長	主に、まとまって伐採しなければならない箇所を示したものである。他に大きい木としては清水門登城路に1本ある。
庄子次長	青葉山整備事業は仙台市の顔づくりの公園事業であり、今回の伐採

江成会長	<p>はそのひとつのステップと考えてもらいたい。</p> <p>今回遺構に支障があるような樹木を伐採するが、最終的にはまた新たに植栽など青葉山一体としての全体的な植生のあり方は、これから改めて検討していく。</p> <p>今回伐採対象になっているところは、広瀬川の景観に直接関わるのではなく、青葉山公園の内側の景観に関わる部分の伐採であると考えられる。</p> <p>青葉山公園崖地崩落対策工法検討について</p>
江成会長	<p>続いての報告をお願いします。</p>
青葉山公園整備室長	<p>青葉山公園崖地崩落対策工法検討について資料2-2に基づき説明。</p>
江成会長	<p>それでは、只今の報告について質問があればお願いします。</p>
安梅委員	<p>自然崖の地層の横の線を是非残していただきたい。</p>
江成会長	<p>確認するが、三つの地層に分けて対応を考えているということだが、青葉山層は植生と吹き付けでやるということか。</p>
青葉山公園整備室係長	<p>そのとおり。</p>
木村委員	<p>このような工事は何年くらい崩落防止が可能なのか。どのくらいの年数を予想して決められた工事なのか。</p>
青葉山公園整備室係長	<p>この工法は30年から40年といわれているが、地震があったり、地層に強弱があるので、一部が欠けたりすると、そこからどんどん壊れ易くなる。工事は基本的には30年～4、50年を想定している。</p>
江成会長	<p>このように崩壊が進んだ要因として、上部の雨水の浸透が考えられるので、検討会では雨水対策も合わせてしっかり行うこととしている。</p>
外山委員	<p>関連して、ここは地滑り地区になっているのか。</p>
青葉山公園整備	<p>この東側の崖面は地滑り地区にはなっていない。</p>

室係長	
江成会長	<p>広瀬川の景観には充分配慮して工事を行うようお願いしたい。</p>
江成会長	<p>議事3 東北大学青葉山新キャンパスについて それでは、次の議題3について事務局からの報告をお願いする。</p>
東北大学 後藤氏	<p>資料3に基づき説明する。</p>
中村委員	<p>現在市街地にある雨宮、片平、星陵の各キャンパスはどうなるのか。青葉山新キャンパスに全て組み入れられるという考えなのか。 また、ユニバーサルシティパークは実際、市民が入るところと学生が入るところを区別する計画なのか。</p>
東北大学	<p>既存のキャンパスのうち、雨宮と片平の南側は売却する考えである。医療を中心とした星陵は現状のままとし、それと川内・青葉山を中心としたキャンパス、及び片平キャンパス、大きくはこの三つに統合するトライアングルビジョンというものを策定している。 また、ユニバーシティパークは基本的に学生と市民を分離せずに、自由に出入りできるように考えている。</p>
江成会長	<p>よろしいか。他にないか。</p>
外山委員	<p>調整池には現在も水が溜まっているのが気になる。この地域は地すべり地区もあり、表面流水もあるので、現状より水を溜めることによって地すべりなんかを誘発することにならないか。 これからアセスメントされる中で、チェック項目の一つとして地下水の流動というものを十分調査された方が良いのではないか。</p>
東北大学	<p>現地調査をしたうえで、調整池の実施設計を進めていきたい。この地区は以前1本の沢であったが、ゴルフ場の開発の際に沢を埋め立ててフェアウェイが造られた。現在この部分が陥没している状況もあるので、十分に認識したうえで、地下にトンネルのようなものを敷設して下流側の沢へ抜くような計画を考えている。 現状陥没しているという状況なので、現地調査を行った上で、実施設計を行っていきたい。</p>

江成会長	<p>よろしいか。他にないか。</p> <p>雨水流出でどのくらい変化すると考えているか。</p>
コンサルタント (アジア航測 株)	<p>確かにゴルフ場とは流出係数が変わる。ただ、その分見合った調整池の容量を考えるので、調整池から排出される水量は変わらないものとなる。土地利用ごとに流出係数は変わるので、平均値に換算して調整池の貯水量を決めている。</p>
江成会長	<p>広瀬川に排出量が変わるなどの影響があるのか。</p>
コンサルタント (アジア航測 株)	<p>今、河川管理者の宮城県と調整して進めている。</p>
松澤委員	<p>地形、造成の管理についてお聞きしたい。</p>
東北大学	<p>基本的には現状の地盤高さを基準とし、高台は高台のまま、平地は平地のままと考えている。クラブハウスは、海拔157mくらいの敷地の地盤に対し180mくらい反り上がってくる場所にある。今回の計画では現状では少し高すぎるということもあって3mくらいの切土はするかもしれない。その他、建物を整備する上で、あまり凸凹していると、不都合があるので、ある程度の整地をするという程度の造成はあると思う。</p> <p>また、植物系の圃場などは平滑さが必要なので、ここは少し造成する。</p> <p>スポーツフィールドは、一番造成が少ない場所を選んでいるが、平滑な地盤が必要になるので少し造成する。</p>
鈴木委員	<p>広瀬川へ流出する雨水にはいろいろあり、夕立など雨が急激に降った場合、雨水も汚水も一緒に放流され、広瀬川の清流を守るという点から良くないと思う。キャンパスは人々が大勢集まるところなので、排水については嚴重にしてもらいたい。</p>
東北大学	<p>下水排水計画については、現在市担当と調整している。調整池に入る雨水は敷地に降った雨であるが、建物の屋上に降った雨には、再利用することとしている。汚水が沢や川にそのまま排水されることは基本的にはないと思う。</p>
江成会長	<p>これは、この区域が合流式下水処理地域であるから、雨水が下水管</p>

	<p>に流されても，汚水とともに広瀬川にそのまま流れてしまう，そのような機会が増えることにならないかということだと思う。</p>
鈴木委員	<p>現在，漁協として困っているのは，大雨が降った時には，雨水も下水も同じということである。</p>
東北大学	<p>今後とも，市としっかり調整して計画を進めていきたいと思う。</p>
江成会長	<p>同様に大きなビルが建ったりすると必ず下水への負荷かかる。合流式下水道システムの欠点と言えば欠点なのだが，最初の雨水というのは汚れているので，それを処理場にもっていけるといのは合流式のメリットでもある。他にいかがか。</p>
東北大学	<p>青葉山新キャンパスのビデオ上映</p>
江成会長	<p>議題４ その他 それでは，次の議題４について事務局からの報告をお願いする。</p>
東西線建設本部	<p>「仙台市地下鉄東西線建設事業広瀬川橋りょうデザインについて」 資料４ - １に基づき説明</p>
江成会長	<p>選定されたデザインの基本的コンセプトを紹介してほしい。</p>
東西線建設本部	<p>基本的なコンセプトは，大橋が美しいアーチ橋ということで日本土木の中でもかなり景観的に評価を受けている橋であることから，大橋とのダブルシルエットという形を考慮している。また，橋下のスパンが５mとかなり短いのは，西公園の下段に広い芝生広場の中で高架橋の下「適度な囲まれ感」を狙って，ピッチを狭くしているようだ。</p> <p>さらに，排水構造物のところを張り出し，これを全線通すことで，全体的なシャープさを醸し出すというところが，コンセプトのようである。</p>
江成会長	<p>そのコンセプトは基本的には変わらずということか。</p>
東西線建設本部	<p>基本的なコンセプトはこのままとし，構造設計をした上で，部材の太さなど変わった時に周辺との調和を考えてどのように変えていくかが，これからの検討課題となる。また，西公園の再整備，あるいは青葉山公園の整備もあるので，整合を図って今後詳細設計を進めて行き</p>

	たい。
江成会長	よろしいか。
東西線建設本部	追加で資料4の別添に基づき、鳥類調査の件を説明
江成会長	今年度4回の鳥類調査を行い、工事着手前の調査としては、これで打ち切りたいということである。ご質問、ご意見があったら願います。
安梅委員	ずいぶん考えて下さっているなという感じで別に指摘事項はない。
江成会長	よろしいか。引き続き、工事中の調査、橋りょう設置後の調査についても同様のご配慮いただきたいと思います。
	東北大学植物園の入門ゲートの設置について及び「定義仙台線道路改良工事に伴う伐採報告について」
江成会長	続いて、事務局からご報告願います。
百年の杜企画課長	資料4-2及び資料4-3に基づき説明。
江成会長	はじめに、「東北大学植物園の入門ゲートの設置について」、ご質問、ご意見があれば願います。
日下委員	入園ゲートはどのような方が、どういう目的で使用することを想定しているのか。
百年の杜企画課長	先日の地元紙に記事が載っていたが、「るーぷる仙台」で植物園へ行かれる方のニーズがあるようだ。現在、植物園の入口は川内キャンパス側しかないのですが、入場後は戻ってこなければならなかったが、青葉山キャンパス側に出られるようになり、また、青葉山キャンパスのるーぷるバス停留所からすぐに植物園に入られるようになる。このようなお客様を想定して設置したゲートと聞いている。
江成会長	現在、市外のお客様が、ちょっと広瀬川を散歩するというルートがるーぷるバスにはない。将来は、是非るーぷるバスでの広瀬川散策用

	<p>の停留所を設けていただきたい。</p> <p>これは一つのアイデアだが、1時間や2時間の散策コースを設定して活用したら良いのではないかと思う。そういう意味では植物園も貴重な観光資源といえるので効果的に活用すればよいと思う。</p>
江成会長	<p>2件目の「定義仙台線道路改良工事に伴う伐採報告について」、ご意見があればお願いします。</p> <p>道路手前側の緑が透けているように見えるが、これは落葉しているということか。</p>
広瀬川創生室長	<p>道路手前の南側は一切、手をつけていなので、落葉により、ガードレールの部分が見えているものである。</p>
江成会長	<p>その他、委員から何かないか。</p> <p>なし</p> <p>本日の議事は以上で終了とする。</p>

以上

この議事録について、会議の内容に相違ないことを認めます。

平成19年5月16日

仙台市広瀬川清流保全審議会署名委員

会 長 江成 敬次郎

佐藤 基温